

UPDATE

■ 第17回 非開削技術講演会（開催案内）

例年開催の「非開削技術講演会」は、今年も第17回を下記要領にて開催します。

テーマ：「日本の土木技術の海外展開
（その課題と取り組み）」（仮題）

内容：海外と日本の「風土・慣習や契約条件、資格・実績要件、品質・検査基準等の違い」や「それらへの対応」について経験を基に4名の講師に講演いただく。

日時：平成22年7月6日（火）
13：00～（約4時間）

場所：発明会館ホール

定員：約180名

参加募集：詳細な情報は、ホームページ（<http://www.jstt.jp>）をご覧ください。

■ JSTT各委員会

1. 技術委員会

第70回技術委員会を4月22日（木）に開催しました。委員会では、第17回非開削技術講演会のテーマや対象講師などが審議され、海外での事業経験者に「日本の技術の海外展開」について講演いただく方針が決定されました。

2. 機関誌（No-Dig Today）編集委員会、 企画編集小委員会

【編集委員会】

第73回編集委員会を4月15日（木）に開催しました。委員会では、機関誌第71号（平成22年4月1日発行）で完了する技術特集第3クールに続く、第72号以降の機関誌編集方針を審議しました。この結果、第72号は技術の特集ではなく、「各種地下パイプラインの整備の変遷と現況」を特集とすることとしました。

【企画編集小委員会】

第73回小委員会を4月15日（木）に、第74回小委員会を5月24日（月）に開催しました。これらの委員会では、機関誌第71号（平成22年4月1日発行）で終了する技術特集第3クールに続く、第72号（平成22年7月1日発行）以降の編集方針を審議しました。その結果第72号では「社会を支える地下管路設備のいま」と題して、各企業の地

下パイプラインの整備の変遷と現況を特集することとしました。さらに、第73号（平成22年10月1日発行）では「非開削関連資材」特集を検討することとしました。

（注）クール：地下設備の誕生（建設）から再生（更生・改築等）までの設備の1サイクルをクールと言っている。

3. 工法ナビゲーション運営委員会

第32回運営委員会を5月26日（水）に開催しました。この委員会では、推進工法及びHDD工法の検索項目の精査を対象に審議し、使い易さの一層の向上を図ることとしました。

4. 誘導式水平ドリル（HDD）工法委員会

第41回HDD工法委員会が5月17日（月）に開催されました。この委員会では、現在のHDD工法用設計積算要領への「曲線推進」の追加と「施工管理マニュアル（案）」を審議し、2011年の改訂を目指すことが確認されました。

5. ソーシャルコスト検討委員会

第1回ソーシャルコスト検討委員会が6月3日（木）に開催されました。この委員会では、交通経済学の視点からのソーシャルコストの概念などが論議されました。



6. 地下探査技術委員会

第1回地下探査技術委員会が6月2日（水）に開催されました。この委員会では、探査業務の受発注者間で共通する技術マニュアル類の整備方針が論議されました。

